

みなさんこんにちは(*^~^*)

夏休み前に配信した第 498 号【読書のススメ】に対して「…やっぱり、子どもといっしょに物語の世界に入って、思いを共有することって大事なんですね」「毎日忙しく子どもにかまってあげることのできない中でも、寝る前に絵本を読んであげるようにしています。読んであげると満足して寝つきもいいです」などの声をお寄せいただき、ありがとうございました。『読書』についての感想が多かったので、今回も「読書」をテーマに取り上げてみたいと思います。

それは、ある日のことでした。寝る前に、娘に絵本を読み聞かせていた時のことです。読み終えて一息つくと「もう一回読んで！」と娘の無邪気な一言。「う～ん。仕方ないなあ」と思いつつ、娘のリクエストに応じていると…しつこくそれが続きます。私もさすがに苦痛になってきて、勝手に話を省略して読んだところ…「ちゃんと読んでよ！！」と今度は怒られる始末。「なんなんだ！」と、イラッとしたことがあります。

また、友人が「うちの子、最近同じ絵本ばかり選んできて…。『えっ？またコレ？』って思うのよね。もっといろんな絵本を読んであげたいのに…」と、嘆いていたこともありました。それに、同じ絵本を毎日繰り返し読むというのは、はっきりいって苦痛だということです。

みなさんのご家庭ではいかがですか？そのような経験はありませんか？

「子どもが同じ絵本を何度も読みたがるのはどうしてなのか…？」気になりますよね。

それについて玉川大学大学院教授の大豆生田啓友（おおまめうだ ひろとも）氏は、絵本「トマトさん」（田中清代作・福音館書店）を何度も読みたがる 2 歳前後の子どもを例にとり「もしかすると、子どもが同じ絵本を繰り返し読んでと言ってくるのは、その時期の内面を反映しているのかもしれない。登場人物に自分を重ね、現実を乗り越えようとしているとも考えられる。そう考えると、何度も同じ絵本を持ってくる子どもの気持ちがいとおしく見えてくる」（教育新聞 平成 28 年 6 月 27 日付）と話しています。

さらに、麻生学園国語科教諭の中島克治（なかしま かつはる）氏は、著書「小学校入学前にことばの力をつける魔法の本棚」（小学館）の中で「読み聞かせによって培われる親子の絆が、子どものことばと心を育む」「繰り返し読むことは言葉の力をアップさせること。飽きるまで付き合っただけあげよう」などと話しています。

絵本「トマトさん」は、真っ赤で大きな顔のトマトさんが画面いっぱい広がる表紙の魅力的な絵本です。

夏の暑い日にミニトマトたちは小川に飛び込み涼んでいます。でも、トマトさんは「みっともない」と言って、小川に入りません。しかし、日照りが続き、その暑さに涙がこぼれてきました。本当は入らないのではなく、体が重くて小川に飛び込むことができなかったのです。それを知った多くの虫たちは、力を合わせ、何とか転がしてトマトさんを小川に入れることができました。トマトさんも冷たい水の中に入ることができて大喜びする…というお話です。

この絵本をしきりに読んでほしいと保育士にねだっていたその子どもは、ちょうどこの時期、うまくいかないことが多く、みんなの前で泣くことが多かったのだそうです。だから、きっとそんな自分自身とトマトさんのうまくいかない気持ちを重ねていたのではないかと…。もしくは、自分がうまくいかない時に、周りのみんなに声を掛けてもらうことがうれしかったのではないかと…。

いかがでしょうか？

繰り返し読んでほしいとせがむ子どもは、きっと大切にしたい心が育っている証拠なのかもしれませんね。こうなったら、飽きるまで付き合っただけあげられないなあと思います。

私も、もう少し早く知っていれば…。広い心で娘に読み聞かせができていたなあと思うと、ちょっぴり悔しい気持ちになります。とは言え、読者のみなさまのお役に立てればうれしいです。それにしても、読書の力ってすごいなあと改めて思うのでした。【A】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^))

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」
> すこやかメルマガ

○「すこやかメール相談」このアドレスに返信することで子育てに関わる相談が受けられます。乳児から小中学校での困り事などお気軽にご相談ください。

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

【転送からの登録手順】

「このメルマガを友人・知人に転送する」→「受け取った方が登録用アドレスを確認する」
→「『メルマガ配信希望』と入力し送信する」→「配信登録完了！」（次回から直接、メル
マガを受信することができます）

【紹介からの登録手順】

アドレス kosodatem@pref.iwate.jp をご紹介していただき、「配信希望」とメールすれば登
録できることをお伝えしていただく。

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索